

# 全体関係

## ④本部事務所移転の検討

### 第2期中期計画(案)

事務所について、申請者の利便性、厚生労働省との緊密な連携の必要性及び人員増によるスペースの確保の必要性を踏まえ、より効果的かつ効率的な事業運営の観点から、他の場所への移転を含めた検討を行い、必要な措置を実施。

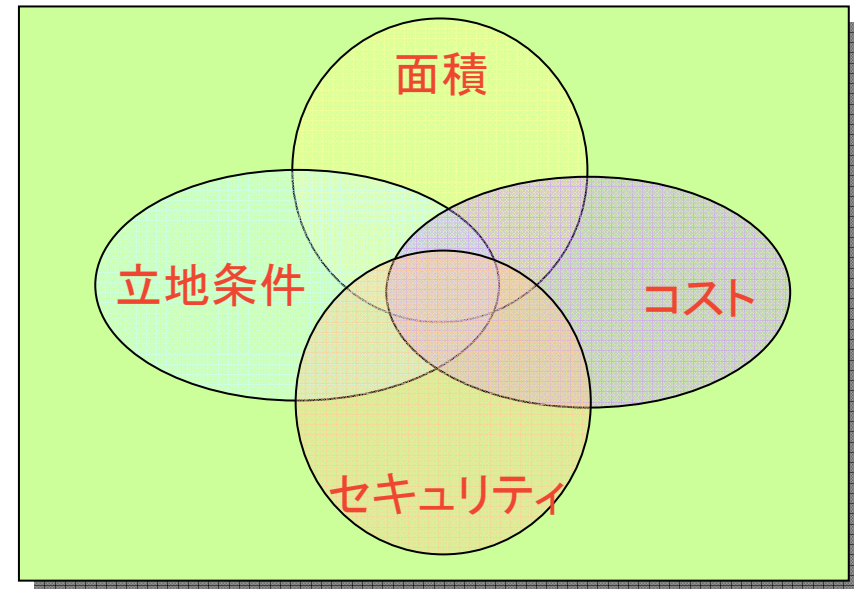
### 現在の本部事務所

千代田区霞が関  
新霞ヶ関ビル

比較



### 各要件に見合った場所



# 全体関係

## (3) 国民に対するサービスの向上

### 第2期中期計画(案)

### 「PMDA広報戦略」を着実に実施する。

### PMDA広報戦略(概要)

第2期中期目標期間(平成21年度~平成25年度)におけるPMDA全体の広報について、国民のニーズを勘案し、国際的な視点も織り込んだ上で体系的に進める観点から、当該期間における広報活動全般の基本方針として「PMDA広報戦略」を策定し、当該戦略に沿った積極的な情報発信を推進することにより、国民に対するサービスの向上を図る。

#### 【広報戦略のフレームワーク】

次に掲げる3つの考え方をベースとした一定のフレームワークの下、ステークホルダーに応じた広報、職員全員広報パーソン等の「広報戦略」を具体化し、実施していく。

#### ① PMDAの「理念」・「ミッション」の実現

PMDAにおける広報においても、その原点に立ち返り、PMDAの「理念」・「ミッション」を多様なステークホルダーから構成される国民のみならずPMDAの職員にも伝えることができるよう努め、広報を通じた「理念」・「ミッション」の普及や共有とともに、その実現を加速させていく。

#### ② PMDAのグローバル化(海外との連携強化)

PMDAの果たすべき社会的役割や国民の期待に応えるためには、国内に向けた情報発信のみならず、PMDAのグローバル化(海外との連携強化)を目指した国外への情報発信も積極的に推進していく。

#### ③ 広報の意義・目的と基本姿勢を踏まえた情報発信

広報の意義・目的と基本姿勢を踏まえた情報発信について、PMDAの社会的責任やハブリックな役割を果たせるよう積極的かつ適切に推進していく。

#### 広報戦略1 【ステークホルダーに応じた 広報】

PMDA全体の広報を実施する際には、**広報手段・ツールを検討する前にまずは「広報対象」を決定すること**とし、具体的には、**広報案件毎に「広報対象」となるPMDAのステークホルダー内の優先順位付けを行った上で、ステークホルダーに応じた広報手段の検討を行う**など、「誰に」「どのような情報を」「どのような手段・ツールで」という視点を常に意識した広報を推進していく。

#### 広報戦略2 【職員全員広報パーソン】

PMDAの活動を国民に正しく理解してもらい、ともに社会を発展させていくことに共感してもらうため、「**広報は広報担当者だけの領域**」という考えではなく、**PMDAの職員全員が広報パーソンとしての自覚を持ち、個々の職員が担当業務のみならず、PMDAの理念・ミッションやPMDA全体の活動内容をよく理解した上で、情報発信を行っていく。**

#### 広報戦略3 【メディアリレーション】

メディアにはさまざまな特性があり、その特性が有機的に結合し相乗的な効果を発揮する面があるが、**PMDAにおける広報を効果的に行っていくためにも、こうした多角的なパワーを有するメディアと良好な関係を築いていく。**

#### 広報戦略4 【リスクコミュニケーション の実施】

**PMDA全体としてリスクマネジメントを適切に行っていくことが非常に重要**であるところ、**PMDAの外部に関わるリスク**については、その発生を未然に防ぐことが最も重要であるが、そのリスクが万一発生した場合においても国民各層が迅速かつ的確に行動できるように、国民の危機管理意識の向上につながるような**情報発信を平時より行っていく。**

#### 広報戦略5 【IT技術を活用した情報 発信の充実】

インターネットの特徴は情報伝達の「即時性」と「拡散性」にあり、ネットワークにつながっていれば誰でも容易に情報を得ることが可能となることから、**インターネットを活用したPMDAの情報発信についても、こうした特徴を十分に活かしつつ、必要な情報が「探しやすい」、かつ、より「見やすい」「分かりやすい」内容となるよう更なる改善を行っていく。**

#### 広報戦略6 【PDCAサイクルを意識 した広報】

国民や社会との相互理解を深めるためには、**情報を「知らせる」(広報)ことのみならず、「聞くこと」によって知る(広聴)ことも含めた2WAYコミュニケーションが必要**であり、**広聴により国民や社会のニーズを正確に把握した上で、それらに応える情報を発信していく。**